

JIS A 6021 認定番号 382045



複合塗膜防水工法（脱気工法）

フローンHNT工法

豊富な実績が育んだ防水機能と脱気工法



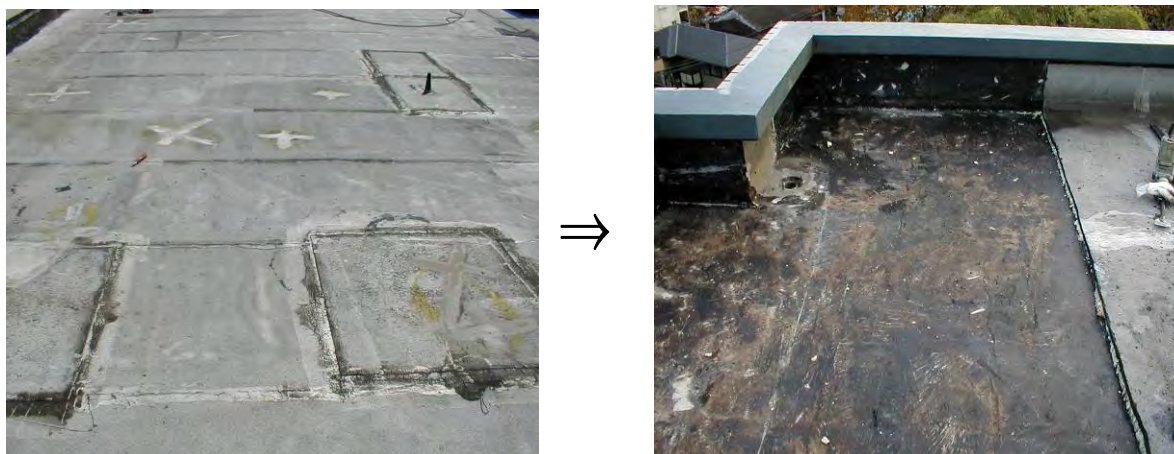
 東日本塗料株式会社

 **ぺいんとわーくす**  建物館

建物は経年とともに劣化が進み、傷んでいきますが、長持ちさせる為には改修工事は欠かせません。防水工事においては、モルタル亀裂に追従できる強靱な塗膜性能が要求されます。建物の耐久性を向上させると共に、美観、快適空間を確保する為にも、適切な改修工事を行うことをお奨め致します。

- 塗装に際しては、下地が十分に乾燥していることを確認してください。

<アスファルト防水の場合>



アスファルト防水材は、接着剤まで剥離除去します。上記の黒い部分も削り取ります。

※上記黒いタール部分を除去してコンクリート面まで出して下さい。(密着不良を防ぐため)

その後良く清掃しカチオン浸透エポプライマー、フローン無機防水にて下地処理をして下さい。

※フローン無機防水のカタログ参照して下さい。

<シート防水の場合>



シート防水材は、接着力に問題があり、原則として接着剤まで剥離除去します。※上記赤い部分も除去して下さい。その後良く清掃しカチオン浸透エポプライマー、フローン無機防水にて下地処理をして下さい。 ※フローン無機防水のカタログ参照

＜モルタル下地の場合＞※下地処理が必要な場合は、無機防水αで処理します。



土、コケ、砂等を洗浄除去し、その後乾燥させる。 目地は旧目地材を除去する。



目地部は新たにバックアップ材、またはボンドブレイカーを挿入、フローンシーリングにて処理し、ガラスクロスで補強する。 構造クラックは U カットし、フローンシーリングにて処理し、同様に補強する。

＜塗装工程＞ ↓



立上り面より3～5㎝程度離れた部分に事前に墨出しをしておく。平場周囲110㎝幅にエクストラボンドSを塗布し、30～60分(23℃)放置後、墨出しラインに合わせて、エクストラシートSを浮き・シワが無いように貼り付け、全面を丁寧に圧着する。

※HNTカタログ参照。

※シートを斜めに傾け、端末を合わせる。



中央部にエクストラボンドSを塗布。(ボンドSの使用量を守って下さい) 30～60分(23℃)放置後、接着材塗布面の歩行を避けて、周囲のシート上よりエクストラシートSの貼り付け作業をおこない、全面を丁寧に圧着する。

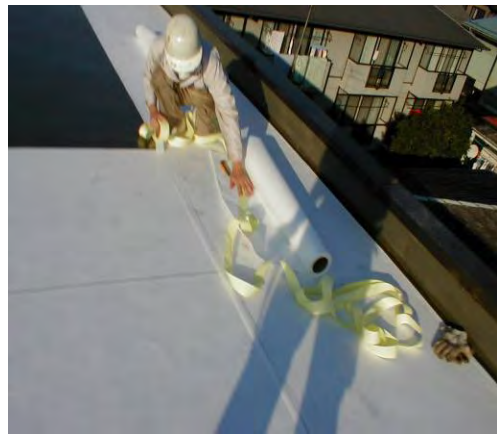
(接着剤が付着したクツでシート上を歩くのは避けて下さい。毛羽立ちの原因となります)

※エクストラシートS貼り付けは、シートの両端を強く引っ張り、斜めに傾け、端末部をまっすぐに合わせてからシート中央部よりゆっくりと浮き、シワが発生しないように貼り付けてください。

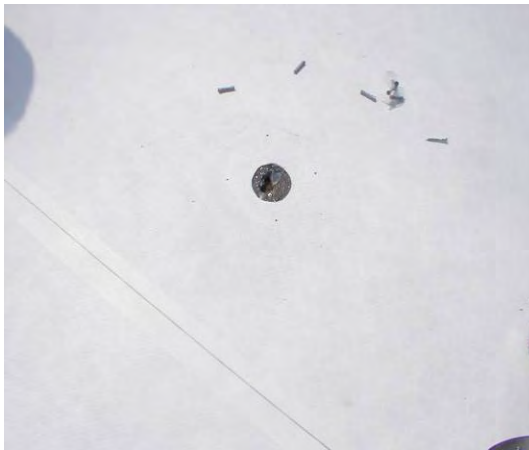


エクストラシートSの貼り合わせは突き付けとし、シートが重ならないように敷きつめる。

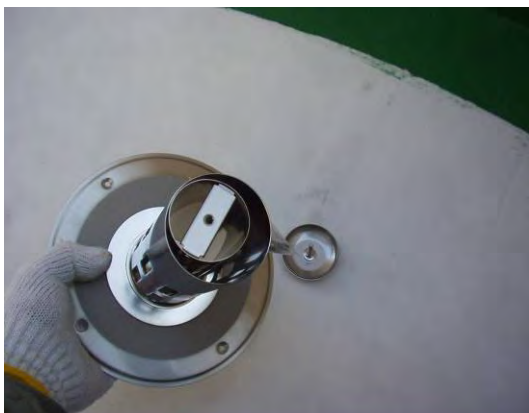
(ハサミ、カッターナイフ使用) ※隙間は、1～2mmにして下さい。



エクストラシートSのジョイント部分にジョイントテープを貼り付け、十分に圧着する。



脱気筒ステンレスは 25～50 m²に 1 ヲ所の割合で目地の交差部に説置。(設置箇所下部分のエクストラシートS、バックアップ材までカッターナイフで切り取り、中を空洞にしてから脱気筒 (ステンレス) を設置しコンクリートビスにて取り付ける。



脱気筒外筒及びステンレスワッシャーは取りはずし、仕上がり後に取り付ける。 端末はフロンシーリングで不陸をなくし、付属のガラスクロスで補強する。

※同梱の取り付け説明書を参照して下さい。



立ち上がり面は事前にプライマーHもしくはU2を塗布しておき、「防水立ち上がり用」を接着剤として塗布し、ガラスクロスで補強する。ガラスクロスのはり合わせ部分は、5%以上の重ね合わせを行って下さい。



防水材、立ち上がり面及び平場とも、中塗りは必ず2回の塗布を行う。
※フローン防水材の中塗りは電動攪拌機にて約3分間程度攪拌し、施工面に流して下さい。缶内に溜めておきますと反応が早まり、使用出来なくなります。
(事前に防水材1セットあたりの塗布面積をチョーク等で目印を付けておき、流し延べて材料の過不足を防いで下さい)
また、最後の缶の中のまわりについての防水材は、使用しないで下さい。
硬化不良の原因になります。



トップコートは十字を切る様に、縦横丁寧に塗布し、溶剤タイプは1回塗装にて仕上げる。(水性タイプは2回塗装)

- ・詳しくは、各カタログを参考にして下さい。